

徳島県立しらすぎ中学校開校準備の状況について 報告事項 1

徳島県立しらすぎ中学校開校準備の状況について

1. 概要

- (1) 開校準備の進捗状況について、関係機関との連携を強化し、開校準備を進めている。
- (2) 校舎の設計・施工の進捗状況について、関係機関との連携を強化し、開校準備を進めている。
- (3) 校舎の設計・施工の進捗状況について、関係機関との連携を強化し、開校準備を進めている。
- (4) しらすぎ中学校の校舎設計・施工の進捗状況について、関係機関との連携を強化し、開校準備を進めている。

2. 校舎について

【夢に向かって進んでいく】というイメージで描き広げた白鷺を描きました。白鷺は白鷺の生息地である徳島県をイメージしており、しらすぎ中学校が生徒にとっての居場所であることになるとともに、多くの喜びがある学校というイメージも込められています。

名西高校 2年 種岡裕樹



教育 創 生 課

徳島県立しらさぎ中学校開校準備の状況について

1 広報について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した、阿南市の説明会・相談会を12月13日(日)に開催
- (2) 老人クラブ、商工団体、外国人就労者支援団体、国際交流協会等への訪問、説明
- (3) 教育委員会各課が実施するイベント等での周知
- (4) しらさぎ中学校専用ホームページ、チラシ・ポスターでの周知(日本語・英語・中国語・ベトナム語)あらゆる手段を講じ、県教育委員会が一丸となって積極的な広報を展開する。

2 校章について

(1) 制作者

県立名西高校芸術科 美術コース2年 福岡怜奈さん

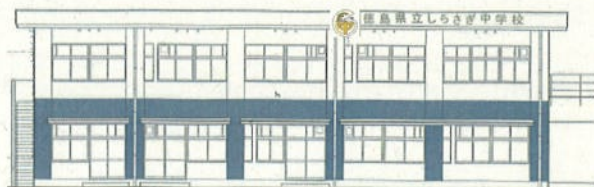
県立名西高校は、西日本の公立高校で唯一、音楽・美術・書道の3コースの芸術科を有する、本県唯一の「文化芸術リーディングハイスクール」であり、芸術力を地域に還元し、文化芸術を牽引する学校づくりを進めている。

開校後の芸術分野の学校間連携を見据え、しらさぎ中学校のレガシーとなる校章デザイン制作を依頼したところ、美術コースの生徒の皆さんの作品の中から福岡怜奈さんのデザインが推薦され、夜間中学校推進チームで決定した。

(2) 校章デザインの意図

『夢に向かって羽ばたいていく』というイメージで羽を広げた白鷺を描きました。稲穂は白鷺の生息地である田んぼをイメージしており、しらさぎ中学校が生徒にとっての居場所やふるさとになるようにと願いを込めてデザインしました。また同時に、多くの実りがある学校というイメージも込められています。

名西高校 2年 福岡怜奈



※校章は、LED照明付きの校名サインとして校舎に設置される